

2022年3月期

決算説明資料

 **東京テアトル株式会社**

事業概要

当社グループは映像関連事業、飲食関連事業、不動産関連事業を基幹事業としております。



映像関連事業は、首都圏と関西に9サイト23スクリーンを運営する映画興行事業、映画の制作、配給、宣伝を行う映画制作配給事業、クライアントから広告宣伝を受注するソリューション事業を展開しています。ソリューション事業の主力領域は屋外広告とシネアドです。



飲食関連事業は、北海道を中心に41店舗を展開する焼鳥専門店チェーン「串鳥」等（北海道34店舗・仙台4店舗・関東3店舗）を始め、ダイニング&バー業態6店舗（東京5店舗・北海道1店舗）、総菜店舗1店舗を運営しています。なお串鳥と総菜はそれぞれ製造工場を4棟、1棟保有し、店舗用商品の製造以外にスーパーへの卸売りや個人・法人向けのデリバリー・ケータリングを行っています。



不動産関連事業は、複合ビルと住居ビルの賃貸事業と、中古マンション再生販売事業を展開しています。中古マンション再生販売事業は競売・仲介・個人との直接取引で物件を仕入、グループでリフォームし、販売をしています。

連結業績概要

(減収増益要因)

- ・中古マンション再生販売事業が好調も、前期大ヒットした『花束みたいな恋をした』の配給収入の反動減により減収。
- ・『花束みたいな恋をした』出資配分金収入の計上と飲食事業の不採算店の閉店効果等から営業利益増。
- ・新型コロナウイルス感染症に伴う助成金収入1,174百万円を営業外収益に計上し、経常利益増。
- ・固定資産売却益403百万円を特別利益に計上し、親会社株主に帰属する当期純利益増。

	2022年3月期	2021年3月期	前期比	前期差
売上高	13,056百万円	13,306百万円	△1.9%	△249百万円
営業利益	△595百万円	△1,627百万円	-	1,032百万円
経常利益	704百万円	△1,151百万円	-	1,855百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	825百万円	△2,292百万円	-	3,118百万円

政策進捗

2022年3月期につきましては、業績の回復を図るとともに新たな戦略を考量する期間と定め、次期中期経営方針の策定は1年延期し、2022年3月期は前中期経営方針を一部見直した上で取組んでまいりました。

■映像関連事業においては、映画を中心とした「コンテンツ」への積極投資による映画制作配給事業の収益拡大を掲げる中で『花束みたいな恋をした』が興行収入38億円となる大ヒットとなり規模拡大に寄与。同作品の実績により大型作品の企画参画が増加しています。

■飲食関連事業では中食・卸売ビジネスの育成を掲げております。実店舗は損益を見極め整理しながら（当期5店舗閉店）、北海道最大手のスーパーとの提携を強化し、中食販売から冷凍商品の販売まで拡大し、売上を伸ばしています。

■不動産関連事業では、中古マンション再生販売事業においてエリア拡大や個人からの直接仕入の強化を掲げております。取り扱い物件のエリアを首都圏から首都圏近郊に拡大するとともに、HPの開設等により順調に個人からの直接仕入件数を伸ばしています。

セグメント別業績

	売上			営業利益		
	2022年3月期	2021年3月期	前期差	2022年3月期	2021年3月期	前期差
映像関連事業	3,391百万円	4,110百万円	△718百万円	△116百万円	△553百万円	437百万円

映画興行事業は、損失を計上したものの増収増益。映画制作配給事業は、前期ヒットした『花束みたいな恋をした』の配給収入の反動減があるものの、同作品の配分金収入を獲得したこと等で減収増益。

飲食関連事業	3,307百万円	3,426百万円	△119百万円	△896百万円	△1,302百万円	405百万円
--------	----------	----------	---------	---------	-----------	--------

飲食事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため要請された時短営業や休業および店舗閉鎖等により減収も、不採算店の閉店やコスト削減により増益。

不動産関連事業	6,357百万円	5,769百万円	587百万円	1,073百万円	952百万円	121百万円
---------	----------	----------	--------	----------	--------	--------

不動産賃貸事業は、前期並みの業績を維持。中古マンション再生販売事業では、好調なマーケット市場動向を捉え増収増益。

2023年3月期連結業績予想

映画館と飲食店では客数が緩やかに回復することを前提とし、かつ大型配給作品が控えていることから前期比で増収となるも、新型コロナウイルス感染拡大防止協力金等の営業外収入および特別利益が減少するものとして、前期比で減益を見込んでおります。

	通期業績予想	前期実績	前期比	前期差
売上高	16,100百万円	13,056百万円	23.3%	3,044百万円
営業利益	100百万円	△595百万円	-	695百万円
経常利益	300百万円	704百万円	△57.4%	△404百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	200百万円	825百万円	△75.8%	△626百万円

補足資料

2021年度 配給作品

作品名	公開日
くれなずめ	2021年 5月 12日
ハチとパルマの物語	2021年 5月 28日
映画 それいけ！アンパンマン ふわふわフワリーと雲の国	2021年 6月 25日
リクはよわくない	2021年 10月 1日
私はいったい、何と闘っているのか	2021年 12月 17日
ちょっと思い出しただけ	2022年 2月 11日
テアトル・クラシックス ACT.1 愛しのミュージカル映画たち	2022年 2月 25日
映画 きかんしゃトーマス オールスター☆パレード	2022年 3月 25日

『ちょっと思い出しただけ』



2021年開催第34回東京国際映画祭において、
観客賞とスペシャル・メンションをW受賞。

池松壮亮 伊藤沙莉

監督・脚本：松居大悟

主題歌：クリープハイプ「ナイトオンザプラネット」(ユニバーサル シグマ)

©2022『ちょっと思い出しただけ』製作委員会

補足資料

2022年度 配給予定作品

作品名	公開日
ツユクサ	2022年 4月 29日
はい、泳げません	2022年 6月 10日
映画 それいけ！アンパンマン ドロリンとバケ〜るカーニバル	2022年 6月 24日
さかなのこ	2022年 9月 1日 *制作・プロデュース作品

・以降の作品は順次リリース予定。 ・公開日等は変更となる可能性があります。

『はい、泳げません』



長谷川博己 綾瀬はるか

監督・脚本：渡辺謙作

原作：高橋秀実『はい、泳げません』（新潮文庫刊）

©2022「はい、泳げません」製作委員会

『さかなのこ』



主演：のん

監督・脚本：沖田修一 脚本：前田司郎

原作：さかなクン「さかなクンの一魚一会〜まいにち夢中な人生！〜」（講談社刊）

©2022「さかなのこ」製作委員会

ふつうってなに？どんなときも大好きなお魚だけを追い続けた子は、いつか“さかなクン”になっていました。

お魚が大好きな小学生”ミー坊”は、寝ても覚めてもお魚のことばかり。お魚を、毎日見つめて、毎日描いて、毎日食べて。他の子供と少し違うことを心配する父親とは対照的に、母親はそんなミー坊を温かく見守り、心配するよりもむしろその背中を押し続けるのだった。高校生になり相変わらずお魚に夢中のミー坊は、町の不良ともなぜか仲良し、まるで何かの主人公のようにいつの間にか中心にいる。やがて1人暮らしを始めたミー坊は、思いがけない出会いや再会の中で、たくさんの人に愛されながら、ミー坊だけが進むことのできるただ一つの道にまっすぐに飛び込んで行く――。

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

本資料に関するお問い合わせ
東京テアトル株式会社 広報・IR担当
TEL 03-3355-1034